

大石田の夏をまるかじり!



自然を満喫!

ゴムボートで

最上川を下る!



ゴムボートで最上川を下る「トムソーヤの冒険in最上川」が7月22日(土)に行われ、町内の小・中学生9名が、川端地区から川前地区までの約5キロの川下りに挑戦しました。このイベントは、町地域学校協働本部の主催で毎年行われているのですが、近年は大雨などの影響で延期や中止が続いており、4年ぶりの開催となりました。子どもたちはゴムボートに乗ると、大石田アウトドアクラブ遊Be隊(柴田和徳隊長)のメンバ―などに教わりながら、パドルを使って力いっぱいボートを漕ぎ、約5キロを1時間半かけて下りました。流れが穏やかなところでは、水鉄砲やパドルを使って水をかけ合うなど、子どもたちは普段なかなかできない体験で、最上川とのふれあいを満喫しました。

スイカオーナー

収穫イベントを開催

スイカオーナー収穫イベントが、7月29日(土)、30日(日)の2日間、深堀ふれあい農園で行われ、県内外から家族連れのオーナーなど446名が訪れ、大きく実ったスイカの収穫体験を楽しみました。農園を26年にわたって管理する芳賀哲雄さんは、「天候不順もあり管理に苦労したが、今年も甘くておいしいスイカになった」と生長を振り返り、オーナーが大きく育ったスイカを収穫する様子を嬉しそうに見ていました。

収穫イベントではスイカの収穫のほかに、スイカやペそら漬の試食コーナーや、特産品などが当たる抽選会などが企画され、参加者は大石田の夏を満喫していました。



▲黒滝橋の上から手を振る保護者とボートから手を振り返す子どもたち。



▲ゴムボートに空気を入れる作業。小・中学生自ら、足踏式エアポンプを使って空気をつめました。

参加した高橋菜の香さん(大小4年)は、「今回初めて手漕ぎのボートに乗りました。ボートを漕ぐには結構力があるんだなと感じました」と話していました。



▲水鉄砲で水をかけ合う子どもたち。